



希望の鐘 *The Bell of Hope*



The Y's Men's Club of Kawagoe

〒350-0046 川越市菅原町 7-16

tel:049-226-2491 fax:049-226-2304

c/o Kawagoe YMCA, 7-16 Sugawara-cho, Kawagoe, Saitama 350-0046 Japan

川越ワイズメンズクラブ会報

No. 28-10

4月号

発行 2026年4月15日

Chartered 1998

- 川越クラブ会長: 利根川 太郎 主題「ワイズメンの原点に立ち返ろう。」
 ～楽しく交流・川越YMCAの支援・国際交流の充実～
- 副会長 松川 厚子 国際会長: Edward Ong エドワード・オン (シンガポール)
 会計 吉田 公代 主題 “Faith, Love, Action” 『信念、愛、行動』
 スローガン “Together Stronger” 『共に、より強く』
- 書記 吉野 勝三郎 アジア太平洋地域会長: 田上 正(熊本むさしクラブ)
 主題 “Act now with faith and love!” 『信念と愛を持って行動しよう!』
 スローガン “Contribute to local society together with YMCA and Youth!”
 『YMCA、ユースと共に地域社会に貢献しよう!』
- 東日本区理事: 山下 真 (十勝クラブ)
 主題 『ワイズのらしさ再発見』 “Rediscovering Y's Uniqueness”
 スローガン Change!

ま

4月の聖句

思慮深くふるまい。身を慎んで、よく祈りなさい。
 何よりもまず。心を込めて愛し合いなさい。
 愛は多くの罪を覆い隠すからです。

(新約聖書 ペトロの手紙 I 4章7～8節)

Be clear minded and self-controlled so that you can pray.

Above all, love each other deeply, because love covers over a multitude of sins.

(Peter 1 4:7-8)

(3月28日)

出席者-10名 クラブメンバー出席率 70%

川越クラブ 4月以降の例会等行事予定

利根川太郎

例年より早く満開を迎えたさくらを車窓から満喫して、川越ワイズメンズクラブと埼玉YMCAクローバークラス合同のバス旅行が3月28日(土)に開催されました。幸い好天に恵まれ、参加した子どもたち、所沢クラブと川越クラブ、関係の皆様が楽しく過ごして下さり、笑顔の一日となりました。詳しくは、吉野さんの報告をご覧ください。ここでは、4月以降の川越ワイズメンズクラブの行事と例会をご案内いたします。

1) 4月12日(日)10:00～15:00

小江戸ブルーマルシェ ウェスタ川越広場にて

川越クラブは、「ライト イット アップ ブルー川越」に参加します。

この催しは、国連総会において定められた4月2日～8日の「世界自閉症啓発週間」に因み、世界各国で催される自閉症啓発イベントのひとつです。

川越クラブは、ウェスタ川越広場にて、こえどブルーマルシェに参加します。いも菓子、Yの森コーヒのチャリティ販売、バザー品販売を行います。

埼玉YMCAは、子どもたちが「ポッチャライトイットアップブルー川越交流会」に参加します。

2) 4月25日(土)10:55 東武動物公園駅西口集合

「Week 4 Waste」兼ねてお散歩例会

川越ワイズメンズクラブの4月例会は、東武動物公園でお散歩例会を催します。「Week4 Waste」を兼ねた例会といたします。

10:55 東武動物公園駅西口に集合して、徒歩にて東武動物公園東ゲートまで移動。この際に「W4W」を行います。入園後簡単な食事と例会を行って自由散策。

持ち物は、軍手とゴミ拾い用のビニール袋、川越ワイズメンズクラブのウインドブレーカーなど。入園後は「W4W」を行いませんので、あまり邪魔にならない程度にご持参ください。

入園料 2300円(一般)、1500円(65歳以上シニア)

3) 5月23日(土)14:00～16:00

川越ワイズメンズクラブ卓話例会

ウェスタ川越 3F研修室 4 (25名収容)

卓話者は、滑川裕子氏(英語の幼児教育の先駆者)です。広い会場(ウェスタ川越 3F研修室 4 25人収容)を予約してあります。埼玉クラブと所沢クラブにも声を掛けしています。なるべく多くの方にお越し頂きたいので、

お知り合いに声を掛けてください。参加者は一般の方を含めて、どなたでも歓迎します。

なお、先般お知らせのとおり、この度、五十嵐政二様が川越ワイズメンズクラブにご入会頂けることになりました。

東日本区理事通信 4 月(第 10 号) <https://ys-east.or.jp/news/topics/8143#gsc.tab=0>

に掲載されましたので、ご報告します。奥様のかほる様のメネットとともに入会のお披露目を、5 月 23 日(土)例会にて行いたいと思います。よろしくお祈りします。

3月例会報告

バス旅行(群馬サファリパーク&コンニャクパーク)

吉野 勝三郎

3月28日(土)、川越ワイズメンズクラブと埼玉 YMCA 川越センターとの共催による、今年度3回目のイベントが、バスの定員27名満席で、成功裏に行われました。

川越ワイズ関係者は、利根川太郎・恵子、山崎純子・中野玲子、吉田公代・幹太郎、生川美樹、吉野勝三郎・ふじ子、河合今日子が参加。所沢クラブからも大澤和子、宮地輝子、岡部八千代(敬称略)の3名が参加して下さいました。

川越 YMCA からは、クローバークラスから7名、アップ(卒業生)7名でした。

私は、群馬県出身ながら、今回、群馬サファリパークを初めて見学しました。アフリカのサファリを手本にしているだけあって、野生動物が何の困りもないまま、車のすぐそばまで寄って来るのは、迫力満点でした。観光バスのネームプレートを見ると、各方面から来ていることがわかりましたし、各地から乗用車で訪れる来訪者も多かったことから、幅広い来訪者を集めていることがわかりました。

同園は、1979年にオープンし、2029年には50周年を迎えます。1988年12月にマイケル・ジャクソンが来園していることが掲示されていました。

ここで、少し早めの昼食を摂って、次の目的地、こんにやくパークへ向かい向かいました。

ここは、川越クラブ・YMCA として2回目の訪問となりました。私は前回も参加しました。前回参加した子供たちから、ぜひもう一度行きたいという希望があり、今回の訪問となりました。

蒟蒻はカロリーゼロと聞いたことがありますので、Internet で調べてみました。こんにやくのカロリーは100g 当たり 5kcal。が答でした。確かに低カロリーですね。今回のように、昼食直後に行って、食べ放題を楽しむのが最高でしょう。私も年齢を顧みず、様々な調理方法によるコンニャクを大いに楽しませてもらいました。今回は、詰め放題はなかったのかな？

因みに、コンニャクは、群馬の特産品です。上毛かるたには、“ネギとコンニャク、下仁田名産”というのがあります。

今回のバス旅行は、8:00発、15:30帰着という予定が完璧に実行され、事故もなく、すべてがスムーズに進みました。運転手さんの協力が大きかったのと、全体の進

行役を務めた、河合今日子さんの配慮が功を奏した結果でした。次回はどこに行けるかな。今から楽しみです。



身近に動物を見ることができました。



こんにやくパーク、イメージキャラクター『マナンちゃん』の前で記念撮影

国際の舞台から

2026 国際大会の開催地がペナンに変更！

利根川 恵子

ワイズメンズクラブ国際協会の第 75 回国際大会の開催地がアラブ首長国連邦・ドバイからマレーシア・ペナンに変更になりました。これは、中近東における国際情勢が不安定であることから、早めに安全で、大会運営の施設設備も整っているホテルが確保できるマレーシア・ペナンに変更となったものです。

開催期間は変わらず、2026 年 9 月 10 日～13 日です。アーリーバードの登録期間が 5 月 31 日まで延長され、登録料は 495US ドル(約 8 万円)となります。登録料には 3 泊 4 日のプログラムの参加費、食費が含まれています。

大会会場となるセント・ジャイルス・ウィンブリー・ホテル・ペナンは、ワイズメンズクラブ国際協会の大会サイトから予約をすると、通常 135 ドルするツインが朝食付きで 97 ドルで宿泊できます。

ドバイよりも近く、50,000 円くらいから往復航空券も入手可能ですので、ドバイは遠くて高いと参加を考慮していなかった方も、ぜひご再考ください。「夢を分かち合い、未来を築こう」というテーマのもと、世界のワイズメンと交

流するとともに、多文化が共生する都市・ペナンを楽しみませんか。



多文化が共生するペナンの街並み

リレー随想

虫垂炎、入院記

山本剛史郎

2026年の目標は健康第一！

このような目標を立てて、2ヶ月半、まさか虫垂炎になるとは。レント期間はお酒を控えようと、2月18日からはほとんど飲まず(お酒を飲んだのは2日間だけ)、毎朝、近所の公園にラジオ体操に行き、夜10時頃から朝6時まで8時間睡眠を取るといった健康的な生活を送っていたのだが！

3月17日の午後2時頃から腹痛が起り、我慢できずに4時頃、仕事を早退。この頃には今まで経験したことのない痛みだった。それでもやがて治るだろうと家で寝ていたのだが、夜8時から37.2℃の微熱。痛みは夜10時になっても変わらず。#7119(救急安心センター事業)に電話する。夜間診療をやってくれるところを3ヶ所紹介してくれたが、電話すると全て断られてしまった。この時点で救急車を呼ぶことも考えたが、結局、次の日まで待つことにした。

翌日3月18日、近所の関越病院に、紹介状や予約なしで行き、9時30分の発熱外来の予約を取った。熱は相変わらず37.2℃の微熱が続く。30分ほど待ってからようやく受診し、血液検査とCTスキャンの検査に回される。そして再受診。待合室でっていると、診察室から担当医が出てきて、慌てた様子で「検査の結果、虫垂炎、いわゆる盲腸だと分かりました。急いで外科に回しますから、すみませんが外科の診察室に行ってください。」と言われる。ここで昨日からの激しい腹痛は虫垂炎だと判明した。外科に回され、20分くらい待ったが、外科医から「虫垂炎ですが、手術と抗生剤で散らすのとどちらが良いですか？できれば、手術をおすすめします。」と言われて、

手術を選択する。すると、また手術前のレントゲン検査や心電図検査が必要と言われてそちらに回される。いつ手術をするのかと思っていたが、外科医からの診察票には「即日、入院、手術」と書いてある。そんなに簡単に手術の日程が決まるのかと思ったが、早く痛みを取り除いてくれるのはありがたい。ちなみに痛みは昨日からほとんど変わらないが、病名がはっきりしたことで少々和らいだ気がした。そこからバタバタと検査をいくつか行い、入院する。病室に案内されたのが午後3時頃。そこで先程の外科医から手術に関する説明を受け、同意書に署名する。3時45分には手術台に行くと言うので、すぐに支度し、手術台へ。手術台では体を固定され、全身麻酔を行いますと言われた後、1分後には意識を失う。

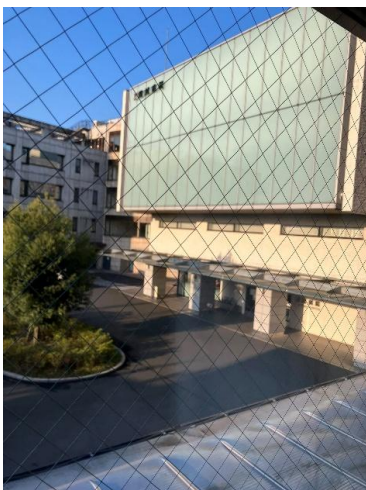
次の記憶は「手術、終わりましたよ。これから病室に戻ります。」と声をかけられた時のこと。そのまま眠りに落ちていたのだが、午後9時過ぎに執刀医が病室に来て、私を起こし、「様子はどうですか？痛かったら痛み止めを入れますから、言ってください。あと、トイレは行きたかったら行っても良いですから。」と言われる。それまで眠りに落ちていたのだが、そう言われると

トイレに行きたくなり、午後9時40分くらいにナースコールを押して、自力で病室の外のトイレに行く。当たり前だが、起き上がる時に腹筋を使うので物凄く痛い。点滴を掛けて置く点滴スタンドを杖というかシルバーカー代りに、ゆっくりゆっくり転ばないように歩く。何とか痛みを耐えながらトイレから戻り、手術着から入院着に着替えてベッドに横になる。とにかくベッドから起き上がる時とベッドに横になる時が一番痛い。それからぐっすり眠り、目を覚ますと、先程から1時間ほどしか経っていない。痛みが続くのでナースコールを押し、痛み止めを点滴に追加してもらおう。痛み止めが効いている間は眠れているのだが、切れると痛みで目が覚める。

手術の翌日、つまり3月19日は一日中、その状態。目が覚める。痛みを耐えながらトイレに行く。痛み止めを点滴に入れてもらう。しばらく眠る。しかし、夕方になると看護師さんから、動かないとイレウス(腸閉塞)になるのでリハビリとして歩いてくださいと言われる。イレウスになると、再手術、入院期間も延びるので、それは嫌なので歩く。とはいえ、最初は20メートルくらいの廊下を一往復、点滴スタンドをシルバーカー代わりにゆっくりゆっくり歩いて、痛みで断念。2回目は3往復で断念。ほとんど、ベッド上で寝返りも打てず、全く動かずに過ごす。



入院初日から退院前日まで付けられていた点滴



入院している病室からの景色

YMCA報告

2026年度がスタートしました！！

4月3日、所沢センターにて新年度礼拝を行い、ネイティブ職員2名を含む4名が新たに加わりました。川越センターは春休み特別プログラム期間中ということもあり、慌ただしい中での参加となりましたが、新しい仲間や部署の異なる職員と久しぶりに顔を合わせることができ、大変うれしく感じました。また、理事の皆さまからおいしいドーナツの差し入れをいただき、感謝のうちに新しい1年のスタートを切ることができました。ありがとうございました。

2026年度も皆様と共に歩んでまいりたいと思います。引き続きお力添えを賜りますよう、よろしく願いいたします。

【Y's×SDGs Youth Action 2026 落選】

3月22日、「この指とまれ&YMCA クローバークラブ川越」は、Y's×SDGs Youth Action 2026のプレゼンテーション大会に参加しました。この事業は、SDGsに沿った地域課題についてユース自らが考え、その解決に向けた活動に対して支援金が提供されるものです。今年は23チームが応募し、そのうち10チームが採択されました。

おとしは「小さなアトリエプロジェクト」として採択されましたが、今年は気軽に参加できる「ゴミ拾い」をきっかけに、人と共に活動する楽しさを通して「縁」を育む＝「ENBIROI」(縁を拾うこと)をプロジェクトとしました。結果は残念ながら落選となりましたが、集まったメンバー達の思いを形にしたいという願いから、川越センターの活動として「ボランティア部」を立ち上げ、通年で実施することにしました。ぜひワイズの皆さまのお知恵もお借りできれば幸いです。



【ボランティア部】

日時:毎週水曜日 17時40分～20時(出入り自由)
場所:埼玉YMCA川越センター101

編集後記

急に温度が上昇し、身体が追い付いていかないような日々です。皆さん、いかがお過ごしでしょうか？

埼玉YMCAは太田 聡総主事になって14ヶ月が経ち、2年目が始まりました。川越センターは、今年度も河合 今日子さんを中心に運営がなされます。どうぞ、引き続きご支援下さい。

世界に目を向けると、本当に悲惨な戦争が複数続いています。天になるごとく、地にも平和と安定がもたらせるようにと祈る日々です。そんな中でも、埼玉YMCAは皆さんの努力と支援を得て、着実に前進しています。新年度にはいくつか、新しい試みも始まろうとしています。私も、できる限りの努力をしたいと思っています。

川越クラブの「希望の鐘」No.28-10号をお届けしますので、ご覧ください。今号も読みごたえのある内容となりました。(KY)